

平成27年10月8日  
港区企画経営部区長室

## デジタルサイネージを活用した情報発信事業

港区は、区民の皆さんに身近な場所で、区のイベントやサービスを、効率的にお知らせできるよう、新たな、情報発信の仕組みを構築しました。

### 【背景】

区は、ホームページをはじめ、広報紙や広報番組、電子メール、ツイッター、フェイスブックなど、さまざまな媒体を活用し、区民の皆さんに、情報を発信してきました。

これまでの情報発信は、情報を必要とする方に、情報を探しにきてもらう「プル型」の情報発信がメインでした。また、子育て中で忙しく情報検索をする時間の無い方や、ホームページやSNSを活用できない高齢者の方など、区が発信する情報を、入手しにくい環境の方も多くいます。一方、日常生活の中には、窓口での待ち時間や、バスの乗車時間など、滞留時間も多くあります。

今回の取組は、「順番を待っている来庁者に、たくさんある区政情報・サービスを、効率的に届けることはできないか・・・」と、一人の職員が考え、職員提案制度<sup>(※1)</sup>に事業提案したことをきっかけに、スタートしました。

※1 職員提案制度とは、職員自らが、地域や職場で抱える課題を解決するために、職員自らの発想で、新たな事業を創造し、提案する制度です。

### 【港区デジタルサイネージコンテンツ配信システムの概要】

港区デジタルサイネージコンテンツ配信システムは、職員の提案をきっかけに、平常時及び災害時に、効果的・効率的に区政情報を発信することを目的に、港区が新たに構築した情報配信システムです。主な特徴は、次の3点です。

#### 1 全国初！さまざまな情報発信システムとのシステム連携

区ホームページや防災情報メール、区議会中継サービス等、複数の情報発信システムと連携しています。これにより、平常時はもちろん、災害時における情報発信の省力化を実現しました。

#### 2 超！省電力型 電子ペーパーサイネージの活用

電力供給がストップした状況でも、情報発信できるよう、超省電力型の「電子ペーパーサイネージ」を採用します。

#### 3 民間事業者との連携

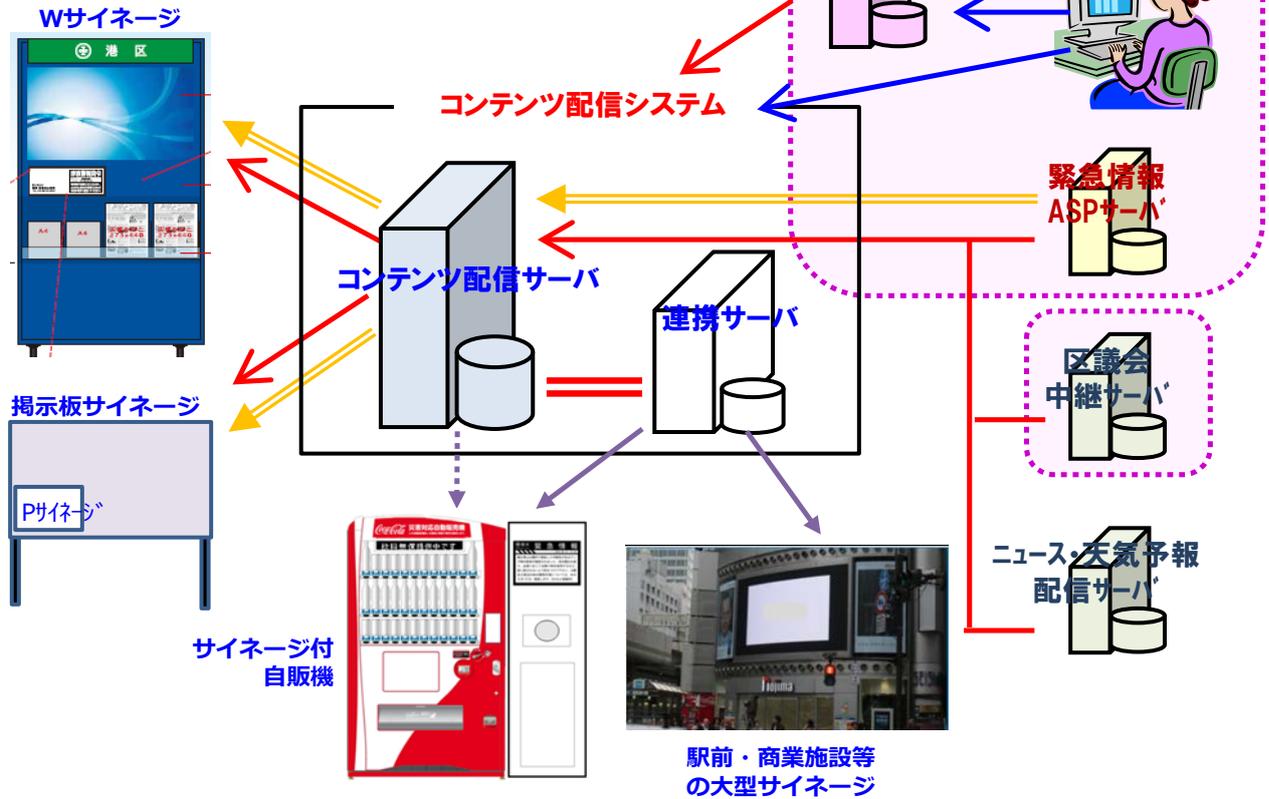
本システムでは、計画当初より民間事業者様との連携・協力による効率的で効果的な情報発信をめざしてきました。

実現のために、駅前や商業施設に大型サイネージ等を設置している事業者様との連携・協力を視野に、港区と事業者の双方が、効率的に情報を発信・受信できる環境を整備しました。

今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピックや災害時の情報発信力強化のため、さまざまな事業者様に、本事業へのご協力をお願いしていきます。

コカ・コーライーストジャパン株式会社様からは、以前より、連携協力の提案をいただいており、検討を進める中で、新しい技術を最大限に活用した、平常時だけでなく、災害時にも大変効果のある、情報発信環境を整備することができました。

# 港区デジタルサイネージ コンテンツ配信システム連携イメージ



Wサイネージ（液晶+電子ペーパー）

▼ペーパーサイネージ表示例



電子ペーパーサイネージ付自動販売機

